

日本人と宗教の関係

Relationship between Japanese and Japanese Religion

グレース・フイー Grace Hui

82-372: Advance Japanese II

今の日本人はたいてい無宗教者と各宗教信者の二つの類別がある。実は神より、漠然と自然や祖先を崇拝している。しかし、宗教の活動をする人は毎年たくさんいる。例えば、結婚式は宗教の式で挙げ、子供が生まれたら神社にお参りし、葬式も宗教の式で挙げる家族がたくさんいる。でも、宗教を信じていないなら、なぜ宗教を活動をするのか。したら特別な意味があるかないかが知りたいからこのトピックを選んだ。香港と日本の宗教習慣が違うと思う。香港では宗教を信じている人は宗教の活動をするし、信じていない人はあまりしないと思う。だから日本人は宗教を崇拝する目的と理由は面白いと思うからこのトピックを選らんだ。今暫定的結論は日本人は祖先を尊敬していて、

日本の歴史を守らなければならないと思うから、各宗教の活動や式は伝統になって生活の宗教習慣になったと思う。

日本人は特別な宗教がないけど各宗教の活動や式をよくしている。例えば、結婚する時結婚式の種類もたくさんある。ある人は神道のやりかたをするし、ある人は仏式かキリスト教で式を挙げる。葬式も結婚式のようにいろいろな形式を選べる。そして、日本人はいろいろな神に祈っている。神社やお寺にもよく行くと言う。特に、正月の一日から三日にかけて、国民の過半数を大きく超えて、初もうでに行く。平日では子供が生まれた時や入学試験をする前や店を開くなど時にはお参りに行って、置物も飾る。神社に行って、置物も飾る目的は幸運を願って、神のお守りが欲しいからだ。でも、それぞれの宗教活動をしている人は実は特に宗教の信徒ではない。しかし、「なぜ信じていない宗教の活動をしているのですか」と聞いたら、「私の家族の祖先がしていたから」と「そのお寺や宗教の文化を歴史と一緒によく保存したい」とたくさんを答えた。

歴史

19世紀の時仏教の影響力は大きかった宗教だ。あの時、毎年お墓参りをする人は約国民の過半数であり、墓前で手を合わせるのには仏様への礼拝の方法である。そして、19世紀の後半からはキリスト教が

流入して、強い影響が加わった。その後、新しい宗教集団も徐々に出て来た。新しい宗教集団はたくさんある。例えば、創唱宗教、天理教・神道など宗教が始まった。しかし、新宗教の中には基督教と仏教を混合する、神仏習合の宗教の影響が一番多くになった。そして、日本人を信じているそれぞれの宗教は大部分創唱宗教と言う宗教類だ。創唱宗教は神道のように民間の習俗的な意識から自然発生的に生まれてきた自然宗教に対して用いられる。普通創唱宗教は創唱者がいる。創唱者は靈的超越者から、啓示や神託を受けて、神を代替して、真理を人間に告げる。徐々に、人々は特定の宗教より、習合の創唱宗教のものをもっと信じた。だから、もし今日日本人に「あなたの宗教は何ですか」ときけば、大部分の人は「ない」と「いろいろなを信じている」と答える。実は今の日本人はもう特定の宗教だけを信じているじゃなく、いろいろな宗教の真理と言葉を信じている。そして、一つの宗教の式を挙げではなく、いろいろな宗教の式は違う事にたいして挙げる。そして、違う事に対して、違う神に祈る。

儒教

日本では特定の宗教より、各宗教の真理と道理を信じている。実はそれぞれの道理は各宗教から出て来たがどうかが知らないが、「宗教のようなもの」に形で親しんでいることに着目することもできる。儒教はその宗教のようなものの一つだ。日本の社会では礼儀を大切にし

ている。例えば、日本人は敬語を使う。「長幼の序」という道理もよくしている。その長幼の序の意味は、先輩に対する言葉遣いと後輩に対する言葉遣いが違う。実は、その各真理と道理と習慣は儒教の影響が大きいと考えられる。でも、日本人は儒教は「道」という言葉を考えている。

儒教は歴史の人物、文王武王の法令を信奉し、孔子を尊び、其の言を重んじ神道を以て教を設けて夏・殷・周三代の礼制を踏襲している思想体系で、紀元前の中国に興る。儒学は国家統治の経世済民思想など学問を集めている「道」だ。神道や仏教やキリスト教に比べて、宗教として意識されることは少ない。だから、何々宗教を信じているより、日本人は普通「道」の真理と祖先を崇拝している。先言っていた日本人の生活習慣もその「道」について、やている。大部分の生活習慣は儒教の五常（仁、義、礼、智、信）という徳性を拡充する。例えば、今日本の社会では、礼はすごく大切な事は話し方に見える。そして、社会では五倫（父子、君臣、夫婦、長幼、朋友）関係を維持する。よく考えれば、伝統的な日本人は男女不平等だ。今でも他の国より、男子は外で仕事をして、女子は主婦になったの家族が多い。そして、社員は会社に忠実な態度を持って、家族より仕事はもっと大切な事の考えも持っている。実は、ただ儒教の儒学だけじゃなく、日本人をよく見ている漫画と映画は「道」と「孤独」について、主題を作

る漫画と映画も多い。現代日本人は多分それぞれ漫画や映画や小説などものからその「道」の考えを持って来た。もちろん、家族に、老人から聞いた道理もたくさんある。

しかし日本人に聞いたら、日本人は「道」を崇拝しているの強い意識はない。ただ、その「道」はも社会の習慣や伝統の中の一つだ。これはもう日本の文化の自身の一つだと思う。だから、今の日本人は宗教を信じていないけれども宗教の活動をしている理由は大体二つある。一つは日本人は歴史と祖先にたいして尊敬をしているからだ。二つは日本の伝統を保護したいからだ。でも、どちらでも、やはり日本の文化と関係ある。そして、日本人はそれぞれの宗教活動は家族と一緒にどんな活動をできるから良かったの考えもよくある。

しかし、近代日本人、特に若い人たちは宗教の活動をする事は減っている。例えば、昔の結婚式は大体仏教やキリスト教式で挙げるがいま若い人は自由式で挙げるも多いし、式をしない人も多い。一月一日について、神社じゃなくで、家族とご飯を一緒に食べるの習慣も出てきた。この変化について人々は違い考えがある。ある人はそれは人たちの自由と新しいカスタムだ。でも他の人はそうしたら、その伝統と文化をする人はたくさん減るのチャンスもあるかないかと心配している。

だから、日本人はなぜ宗教を信じていないが宗教の活動をよくし

ているか。答えは多分二つある。一つは日本人は歴史と祖先にたいして尊敬をしているからだ。二つは日本の伝統を保護したいからだ。そして、その二つは全て文化と関係ある。だから、結論はやはり、日本人は日本の文化で、日本人は祖先を尊敬していて、日本の歴史を守らなければならないだと思うから、各宗教の活動や式は伝統になって生活の習慣になったと思う。日本人は宗教をあんまり信じていないが、宗教と似ている「道」の言葉がある。そして、日本の社会では、その「道」の考えややり方をよく使用をしている。近代日本人は宗教の活動をする事もへっている。でも、新し文化を出てくるのは大切だと思う。そして、宗教の活動を減っているが神社や宗教の文化はそんなに簡単に消さないと思う。だから、たくさん心配をする必要はないと思う。

<http://newsphere.jp/national/20150922-1/>

<http://www.nippon.com/ja/in-depth/a02901/>

<http://www.nippon.com/cn/in-depth/a02901/>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%89%B5%E5%94%B1%E5%AE%97%E6%95%99>

<http://www.wikiwand.com/ja/%E5%89%B5%E5%94%B1%E5%AE%97%E6%95%99>